



ほけんだより 7月号

令和6年7月
こひつじ保育園

暑い季節がやってきました。梅雨明け直後は暑い日が続くので、熱中症に注意しなくてはなりません。水分補給や体調管理に気を付けながら、涼しい時間帯は外遊びをして、暑さに負けない体づくりを心がけましょう。

夏に多い感染症

ウイルス感染によって起こる病気です。他人への感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断を受けましょう。

ヘルパンギーナ

突然の高熱と喉の痛み、口の中の水ぼう、口内炎が特徴です。症状が軽ければ1～4日くらいで解熱します。



プール熱

プールで感染することもあり、高熱が3～5日くらい続き、喉の痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状も出ます。食事は消化のよい物を食べましょう。



手足口病

手の平、足の裏、口の中に水ぼうがで、発熱することもあります。食事は喉越しのよい物を食べましょう。



流行性角結膜炎

目が腫れ、充血し、普段より多く目やにや涙が出ます。周りの人への感染源となるので、タオルは共有しないようにしましょう。



みずあそびの事前準備

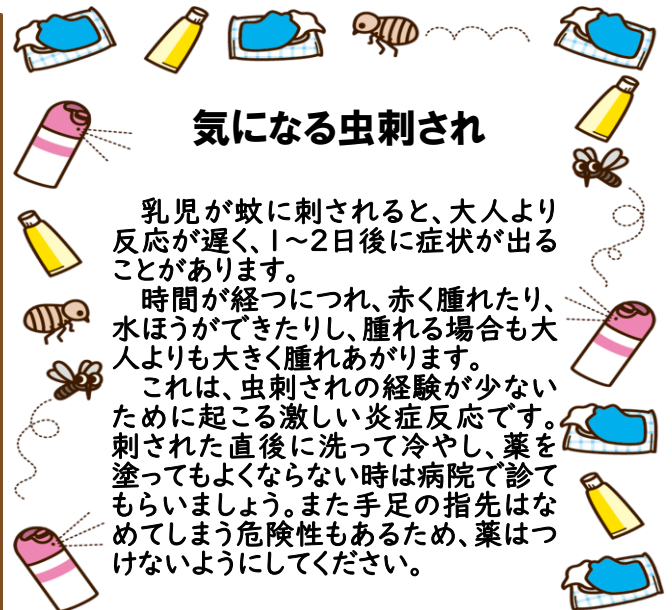


夏の水遊びが始まります！

- * お子さんのその日の体調など、健康状態をチェックしましょう！
- * 体調によっては、水遊びが出来ない場合があります。以下の症状のほか、気になる症状がある場合はご相談ください。
- * 爪を切りましょう。長いと、けがの原因となります。

こんな時は水遊びはできません↓↓

- ・ 熱がある。または、前日に熱があった。
- ・ 風邪症状が出ている。
- ・ 目が赤く充血している。
- ・ 普段より多く目やにが出ている。
- ・ 普段より多く耳だれが出ている、耳の痛みを訴える。
- ・ 下痢をしている。
- ・ とびひがある。
- ・ 水いぼを掻き壊し浸出液がでている。



気になる虫刺され

乳児が蚊に刺されると、大人より反応が遅く、1～2日後に症状が出る場合があります。

時間が経つにつれ、赤く腫れたり、水ぼうができたりし、腫れる場合も大人よりも大きく腫れあがります。

これは、虫刺されの経験が少ないために起こる激しい炎症反応です。刺された直後に洗って冷やし、薬を塗ってもよくなる時は病院で診てもらいましょう。また手足の指先はなめてしまう危険性もあるため、薬はつけないようにしてください。

<こひつじ保育園6月の感染症>

- ・ アデノウイルス
- ・ 溶連菌感染症

6月27日現在